aguti

ヨーロッパ最上級シート《aguti（アグチ）》

日本上陸までの奇跡

日本のキャンピングカー市場で、FIAT DUCATOが本格的に始動した2022年。
時を同じくして欧州No.1のRVシートメーカーが日本に上陸した。
欧州大手のHYMERをはじめ、ADRIA、Dethleffs、burstner、KNAUS等、
日本でも知られる多くの欧州メーカーで上級モデルに採用される《aguti（アグチ）》。
その高品質と安全性の高さに惚れ込んだトイファクトリーとagutiの出逢い。
日本上陸までのストーリーを追う。

スイス、オーストリアの国境にまたがる美しいボーデン湖のほとりに建つagutiの本社。

自社内に安全性試験の設備を備え、全ての製品において試作品の段階でクラッシュ試験を実施。高い安全・耐久性を実現している。

人間工学に基づいた快適性と、ラグジュアリーなデザインを両立したシートは、多くの欧州キャンピングカーメーカーに選ばれている。

先見性・行動力・安全性を追求した2企業が出会った

「フィアット・デュカトが日本のRV市場へ進出する」そう確信したトイファクトリーは2019年頃から、水面下で新たなプロジェクトをスタートさせていた。その1つが安全性が高く、高品質なシートを製造していたagutiー社（※以降アグチ社）へのアプローチであった。

アグチ社はヨーロッパ高級キャンピングカーに採用される欧州ナンバー1のRVシートメーカー。そのシートはRV専用に1から設計されており、長距離走行を想定した快適性、居住性に優れる。キャンピングカーの本場でもその品質は高く評価されている。

安全性へのこだわりも強く、運転時の事故を想定したクラッシュ試験を自社工場内で実施。年400回を超える試験を行っている。その設備は世界大手認証機関「テュフラインランド」の定める安全試験ができるレベル。よって、開発・改善のスピードも早いのだ。

1993年の創業以来急成長し、欧州ナンバー1シートメーカーとなったアグチ社。このような会社と直接の取引を始めるのは非常に困難である。そこで、トイファクトリーは、シートベルトや移動式シートで長年取引をしてきたシドイツのシュニーレ社に協力を求めた。

シュニーレ社はヨーロッパでアグチ社との提携も行っており、社長の計らいで3社懇談の場が設けられた。シュニーレ社はトイファクトリーとの20年の取引を振り返り、その成長過程から、国内パンコンナンバー1であることなどを丁寧に説明している。

その行動力、スピード感に驚いたaguti社長はトイファクトリーの本気を感じ、すぐに社長はじめ各リーダーを揃え、日本進出に向けてのミーティングが始まった。

agutiのセバスチャン社長も交えて、日本で展開するシートについて熱く議論された。

《aguti社 セバスチャン社長からのメッセージ》

特別なシートをニッポンの皆様のもとへ

今年 9月、Toy-Factory社は新たに STELLANTIS JAPAN FIAT社の DUCATOをラインナップに組み込んだ。広々としたスペースかつ高品質な DUCATOをベースに全く新しいキャンピングカーを提供することが強いだと言う。この特別な空間に見合うシート（座席）をどの企業に依頼するか。欧州中のメーカーを尋ね歩いた結果、Toy-Factory社が選んだのが私たち agutiだった。

aguti社はドイツ、スイス、オーストリアの国境にまたがる美しいボーデン湖のほとりに拠点を持つ。実登を基調とした現代的なその施設に入ると、創造力と情熱に満ちたエンジニアたちが人間工学に基づいて車両用シートの開発に勤しんでいる。1993年に欧州 RV産業の中心地であるバーデン（どこか聞き馴染みのある単語ではないだろうか）ーヴュルテンベルク州で創業。以来特殊車両向シートの研究開発から製造、販売までを行っている。全員にはなるが、その後2年後にニッポンの自動車産業の中心地で創業された Toy-Factory社にはやはり近しいものを感じてならない。

創業から四半世紀が過ぎ、2020年には世界的車両テック企業ALKOグループの傘下に加わった。今日私たちがキャンピングカー用シートにおいて世界中のトップメーカーに支持される理由は安全性、快適性、実用性の3点だ。サプライヤーに対する厳しい品質基準はもちろん、全ての製品において試作品の段階で毎年 400回以上のクラッシュ試験を行い高い安全・耐久性を実現している。しかしこの3点が顕著に感じられる製品はやはり、Toy-Factory社の新たな DUCATOベースキャンパーに搭載される Milanシリーズのシートだろう。

Milanシリーズの一番の特徴は体格の個人差やあらゆる場面を想定した柔軟性だ。シートの高さ、傾き、方向はもとより、アームレスト、ヘッドレスト、腰部のサポート、シートヒーターに至るまで直感的でスムーズな調節ができる。これらを包む革製の滑らかなカバーにはagutiのロゴであるアグーチ（警戒態の小動物）のシルエットが刺繍されており、これは「軽薄み外れた」耐久力と品質の証として欧州の RV業界で広く認知されている。

Toy-Factory社は10年に亘る交渉の末に、世界のRVベース車両の70%を占める FIAT社のDUCATOの国内ディーラー権を限られた5社の内の1社として取得した。近い将来公開されるであろう DUCATOベースの新型キャンピングカーは、ドイツの大手RVメーカー「HYMER」のメインデザイナーを勤めたFrank Venter氏との協業デザインだと聞く。このようなスペシャルな車両の専用シートを私たち agutiが Toy-Factory社の藤井社長をはじめ、皆さまと共同開発できることを光栄に思う。

パンデミック終焉の波はまもなく日本にも届くだろう。ニッポンの皆さまには agutiの最高品質のシートを載せた Toy-Factory社の新型キャンピングカーで日本中を、強いては海を越え世界中を、心ゆくまで旅していただきたい。

aguti

aguti Produktentwicklung & Design GmbH
Managing Director / Sebastian Janssen

帰国後aguti社長から届いたメール。
そこには日本市場とトイファクトリーに対する期待が強く込められていた。

その場で座り心地などを入念に確認しながら打ち合わせを行い、仕様について詰めていった。こうして、日本でのaguti進出の第一号はMilanシリーズに決定した。

訪問の最後にトイファクトリーチームの社長と開発スタッフ、そしてデザイナーのフランク氏、aguti社の社長と主要スタッフが集まり記念撮影が行われた。

その想いやメーカーとしての信頼性などを知ったアグチ社はトイファクトリーとの提携を内定し、日本でのアグチ総代理店としての版権をトイファクトリーに委ねることで合意することに。あとはデュカトが日本に進出するタイミングを待つだけとなった。

そして2022年8月、藤井社長はドイツで開催されたキャラバンサロンでアグチ社のセバスチャン社長と再会。翌9月にフィアット社とデュカト正規代理店契約を結ぶことを伝え、アグチ社シートのプロジェクトを本格的にスタートさせたいことを希望した。

すると、アグチ社への訪問を提案されたという。そこで、藤井社長は持ち前の行動力で、自社「トイファクトリー」の開発部と品質保証のトップ、デュカトキャンパーのデザインコラボレーションをするフランク氏とともに、キャラバンサロンから2週間後には再びドイツへと飛んだのだ。

その行動力、スピード感に驚いたのはアグチ社だった。トイファクトリーの本気度を感じ、すぐに主要メンバーを集めミーティングが始まった。その場で乗り心地のチェックをしながら、最終的な仕様を決めていく。

今回、デュカトの代理店である、フィアットプロフェッショナル正規ディーラー契約を締結するのは、トイファクトリーを含めて5社。驚くことに、トイファクトリーは他のメーカーにもアグチ社のシートを提供することを提案している。そこには「日本のキャンピングカー市場全体を盛り上げたい」という藤井社長の想いがあるのだ。

今後日本のキャンピングカーシーンにアグチのシートがどのような影響を与えていくか楽しみだ。